

大阪湾再生 市民等の意見について

大阪湾再生の取り組みを一層推進し、市民・NPO・学識者・企業との連携や協働を拡大するとともに、「大阪湾再生行動計画」の中間評価に資するため、以下の取り組みを実施した。

- (1)大阪湾再生シンポジウム（平成 19 年 12 月 15 日開催）
- (2)「大阪湾再生行動計画 中間評価（案）」についてのパブリックコメント（平成 19 年 12 月 12 日～平成 20 年 1 月 18 日）

		意 見
(1) 大阪湾再生シンポジウム 1) パネルディスカッションでのパネリスト意見	①大阪湾再生の方針等に関して	[多様な主体との連携の必要性] ・地域の中での生きたネットワークの構築・活動の推進 ・住民との協働、特に、子供、若者の取り込み ・市民も海辺、川辺に出かけ、水辺への親しみや大阪湾を実感することが大事 [さらなる取り組みの推進] ・現在残っている環境を損ねず、できることから実践 ・さらなる積極的な取り組みの実践 ・海や生物の視点も取り入れた循環型経済社会づくり
	②施策推進に関して	・ハードの維持管理（順応的管理）への市民の関与による連携の強化 ・海と陸の結節点（エコトーン（移行帯））の再生による海陸連携 ・市街地から臨海部の浅場までのアクセスの向上による親水性の向上 ・大阪湾のモニタリングへの市民にわかりやすい指標の導入（例：目に見える生物（スナメリ）等）
2) 出席者アンケート意見	①大阪湾再生の方針等に関して	[多様な主体との連携の必要性] ・企業、府民県民をもっと巻き込む ・大阪湾の実態がどうなっているか考える日をつくる
	②施策推進に関して	・市民が海に親しむ場所を増やすとともに、そのような場所のPR ・ごみ回収のコスト削減のため、水路や河川レベルでのアバの復活
(2) パブリックコメントでの意見	①大阪湾再生の方針等に関して	[多様な主体との連携の必要性] ・大阪湾再生を市民へアピールする日（「魚庭（なにわ）の海」）の設定 ・地元住民、一般市民の自発的な活動、行政との連携のさらなる拡大 [さらなる取り組みの推進] ・目標をさらに上回る取り組みの推進 ・水質目標に改善傾向がみられていないことについての要因分析 ・積極的な検討の推進（広域的流況制御の展開方策についての検討など）
	②施策推進に関して	・次の取り組みによる水質改善 岸壁、泊地等の整備時の岸壁への貧酸素対策設備の設置 海底泥中の栄養塩類の除去のための浚渫（機械的除去）の実施 河川水質の浄化のための取り組み（直接曝気、汚泥集積ポケットでの効率的堆積物回収）の実施 ・次の取り組みによる親水性の向上 護岸構造の工夫による、安全に安心して水にふれあえる場所の提供 海辺のウォーキング活動の展開
	③中間評価（案）への意見	・中間評価を外部機関や有識者による外部評価を行うべき ・個別の施策の詳細な情報に不足している ・“総括”の部分での今後の大阪湾再生にかける決意が伺えない

## 【「大阪湾満足度評価」アンケート調査】

### 【実施状況】

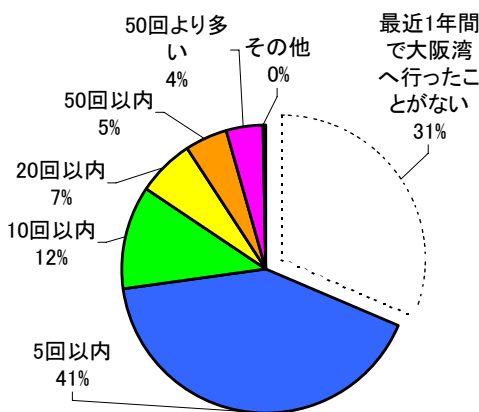
- ・ 調査実施機期間：平成 19 年 7 月、8 月中心
- ・ 対象者：大阪湾の利用者（大阪湾臨海部の親水施設への設置、大阪湾に関するイベント参加者への配付、NPO 団体・臨海部企業への配付）
- ・ 調査項目：1) 大阪湾の訪問状況（場所、訪問目的・回数）、2) 訪問した場所の印象※、3) 大阪湾（全体）の環境についての印象※ など

※海の色、臭い、ごみの多さ、海への近づきやすさ、海の触れ合い施設設置状況、海辺の生き物の多さなど

- ・ 実施状況：配布数：2,107、回収数：569（回収率 27.0%）

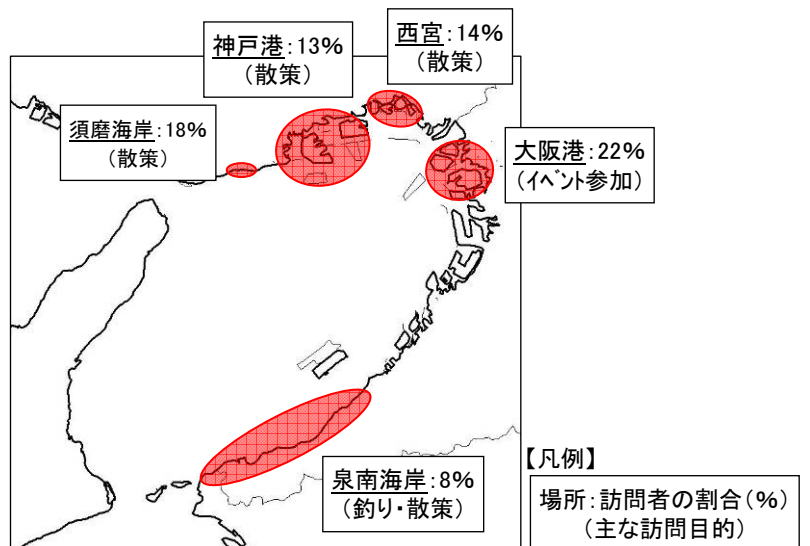
### 【アンケート調査結果（主な結果）】

#### ●大阪湾の訪問状況



#### ●訪問者の割合が多かった場所

（5箇所あわせた訪問者割合：75%）



#### ●大阪湾（全体的）の環境に対する印象

